

■日本リユースシステム(株)

東京都港区港南2-15-1

品川インターシティA棟28階

TEL 03-6717-4363(代)

FAX 03-6717-4364

対談 代表取締役 **山田 正人**

ゲスト **角 盈男**
(野球評論家)



安心・安全・便利な回収システムで コスト削減や環境保全に貢献



角 早速ですが、これまでの経緯からお聞かせ下さい。

山田 私は様々な事業を立ち上げ失敗し続けてまいりましたが、ある方から「商売は社会や人が本当に必要とするものならば必ずと事業に育つもの。困っている問題を解決してその対価をもらえばいいのだ」と商いの極意を伝授され、ゴミ問題など様々なトラブルを解決するリサイクル業界に足を踏み入れたのが約3年前です。そして修業先の会社で放置自転車対策事業やリサイクルショップの運営、在庫処分品専門の売買、あるいは古着ショップなどを個人事業主として立ち上げ、昨年6月に法人として当社を設立。当初は放置自転車対策事業や不用品の回収を中心に手掛けていましたが、今後事業として本格的に伸ばせる分野は不用品回収システムを使ったリユース・リサイクル事業との結論を出しました。しかし目指す事業展開を進めるに当たって海外マーケットも視野に入れる必要があり、そのためにはかなりの規模の輸出力や物流力が不可欠であることを思い知らされました。

角 短期間に独自で構築できるものではありませんよね。

山田 ええ、そこで私の構想に賛同して下さる企業と資本及び業務提携させて頂く形を取り、それが総物流の(株)丸和運輸機関さんや中古品輸出専門商社の(株)南越商会さんになります。両社の協力を得て物流力・

海外への輸出力を最大限にいかした不用品回収システムの提案が可能となり、このシステムによって従来の不用品引き取り、処理に伴う様々なデメリットを解消する画期的なサービスが実現する運びとなりました。

角 従来のデメリットとは。

山田 家電店を例に挙げますと使われなくなった家電製品の引き取りに際して、処分費用を顧客から徴収したりお店で負担せざるを得ないのが実情です。かといって引き取りを断ると顧客サービス不足による風評被害や買取ロス、販売ロス、あるいは顧客離れなどのデメリットが懸念されます。また、個人レベルの回収業者に転売したり無償譲渡することは不法投棄による排出者責任を問われる可能性も考えられるのですね。

角 御社のシステムはそうしたデメリットを解決した点に真価があるわけですね。

山田 私どもがコンセプトとして掲げるのが「安心・安全・便利」でして、電化製品全般・鉄製品・プラスチック製品・金属製品・アルミ製品など、リユース・リサイクル可能な不用品を状態問わずすべて無料回収致します。ですから買い替えや下取りなどで発生する不用品処分のための負担がお店や企業、顧客などに掛かることは一切ありません。加えて手間的にも専用の不用品回収依頼書をFAXして頂くだけで済し、少量からの無料回収も可能など物量に応じた便利な回収プランをご用意しているため、貴重なスペースをロスすることがないことも喜ばれます。また、当社はリユース・リサイクルのための商品としてコストを掛けて回収＝仕入れを行っていますので、流出や不法投棄が一切ない点も安心です。自社の商品センターに搬入後はリユース品・リサイクル品に仕分けをして原則的に開発途上国に輸出し、万が一リユース・リサイクルできないものが含まれた場合でも当社のコストにて適正に廃棄処分することを確約させて頂きます。

角 従来の不用品引き取りとは全く異なるシステムであることがよ

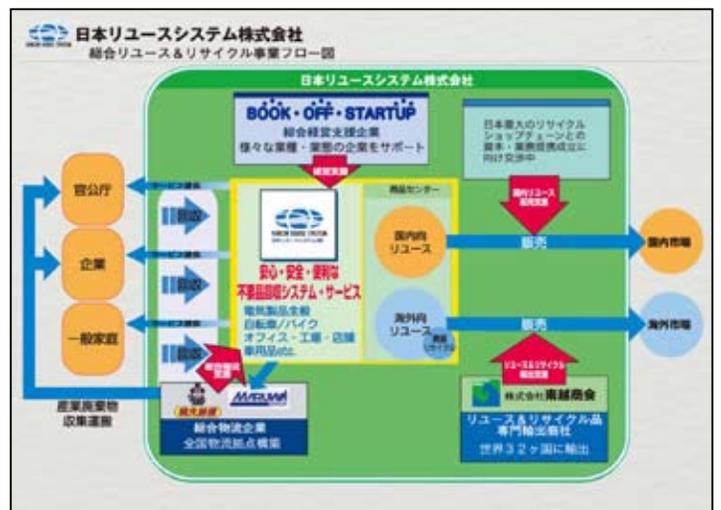
く理解できました。

山田 物流力や輸出力、国内での販売力、といったすべての力が1つに集約されなければ、この便利な回収システムを提供できないのは確かです。また、私どもが目指す方向性としてブックオフさんやハードオフさんがありまして、両社は従来の中古業界にあった「暗い・汚い・狭い」というショップのイメージを払拭し「明るく・綺麗・広い」というコンセプトを徹底的に追求されてきました。また、便利さという点では文房具のアスクルさんも目指す像の1つとして、不用品の回収や産廃に伴う不透明さやリスク、費用の発生などをクリアして「安心・安全・便利」を徹底的に提供していく所存です。当社としても廃棄物や不用品を何らかの形で有効活用して利益を生み出す会社として成長していきたいですし、当社の成長はそのまま環境保全やリユース・リサイクルの推進など地球や社会のメリットに繋がるという使命感も感じています。

角 今後の構想もお願いします。

山田 本格的に回収システムを提供し始めて月日が浅く、提供先企業も100拠点に留まっていますが、捨てるよりも簡単な仕組みを通じてゴミ処理費用の大幅な削減や顧客サービスに役立てて頂くことが可能で、環境保全に配慮する会社という企業イメージの向上にも繋がることをアピールして回収先の輪を広げていきたいと。目標は回収効率を上げるノウハウを磨いて利益を出せる体制づくりを行い、企業だけでなくエンドユーザーの皆様も利用できるサービスとして日本に定着させることですね。

角 そちらもぜひ早期に実現して下さい。



「総合リユース&リサイクル事業の概要」